



GO-ganic 通 信

つなげよう、有機農業の輪。

Vol. 16

2026 年 1 月発行

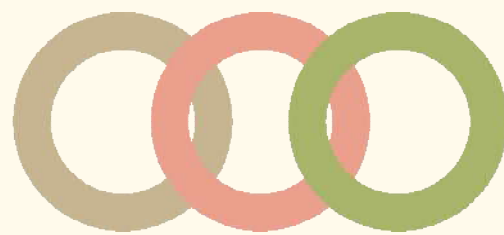
「江津市の有機農業がもっと知りたい！」
「今日は有機食材を食べてみようかな」
一人でも多くの方に思っただけのように、
江津市の GO-ganic に関する情報をお届けします。

12 月 8 日は有機農業の日

学校給食で GO-ganic な献立を提供

12 月 8 日は有機農業の日です。有機農業推進法が成立した日として 2016 年に記念日に制定されました。この日の前後約 1 ヶ月間は、農林水産省の呼びかけで全国各地で有機農業の取り組みを紹介しています。取り組みは「学校給食での利用」「有機食品の販売促進」「有機農業関連イベント」の 3 つに分かれて紹介されています。

「有機農業の日」特設サイトはこちら▶▶



有機農業の日



今年度江津市では有機農業の日に市内全小中学校で江津市産の有機農産物を使った献立を提供しました。使用した有機野菜は香の宮 F & A の青ねぎと(有)はんだのごぼうです。使用された野菜はこの時だけに限らず日々給食で使用されています。給食への利用だけでなく、校内放送で有機農業についての放送原稿を呼んでもらったり、小学 6 年生に有機農業に関するアンケートを取り、今後の推進に繋がる良い機会になったと思います。

大豆の脱穀を行いました



▷干した大豆を脱穀していく

この日の作業は脱穀だけでは終わりません。脱穀をした大豆を教室に持ち帰り、今度は手で選別の作業です。反田さんにどのような大豆を選別すれば良いか教えてもらい、時間の許す限りトレーに分けていきます。大変な作業でしたが、児童は集中力を切らさずに取り組んでいました。収穫された大豆の一部は来年の5年生が授業で使う種として残されます。2月にはみそ作りの授業をする予定です。

桜江小学校で小学5年生の総合学習の時間に行われている大豆の授業は大豆を自然栽培されている反田さんの指導のもと行われています。本通信 Vol.11 で土寄せを紹介しましたが、11月に無事収穫を迎え、12月は脱穀の体験が行われました。教室横で乾燥した大豆をまずは叩いて豆を出していきます。唐箕(とうみ)を使って大豆とゴミを選別するのも体験。手で脱穀しきれない分は、機械を使い脱穀を体験しました。



▷教室で大豆を選別する様子

江津市有機農業推進協議会からのお知らせ

有機農業に取り組む団体を支援します！

有機農業を実践する地域団体が行う独自の取組を支援します。講師謝金、視察料、研修負担金、印刷製本費などに使うことができます。(2分の1以内、年額5万円以内)しています。

野菜 PR シールを活用しよう！

農薬や化学肥料を使用しない栽培をしている農産物を消費者に安心して購入してもらうため「江津市有機農業推進協議会」で野菜 PR シールを作成、無料配布をしています。栽培記録などで農薬・化学肥料を使用していない証明などいくつかの条件を満たす人にお渡ししています。詳しくは協議会までお問合せください！



公式 LINE アカウント

こちらの通信をはじめ、協議会発信の様々な情報を発信しています。ぜひ友だち登録してください！

GOrganic ゴーガニックとは

長きに渡って有機農業を実践する生産者、オーガニックな食や暮らしの在り方を提唱する民間の有志メンバー、それらを取りまとめる江津市農林水産課、三者が手を取り合って立ち上がったプロジェクトです。イベントの開催や有機農業推進に向けたいろいろな活動を行っています。

詳しくはウェブサイトへ ▶▶▶

